



中央小だより

桐生市立新里中央小学校

令和6年6月10日（月） No. 5 TEL 74-8449 FAX 74-5642



中央小の教育実践と学校評価アンケートの具体的評価項目



今年度も学校評価アンケートへの回答をお願いします。学校では、子供たちの学力向上や体力向上に向けて、様々な工夫をし、教育実践を展開しております。保護者の皆様には、年2回、学校評価アンケートへの回答をお願いし、教育活動の評価を行っていただいております。改善すべき内容については、すぐに対応策を見直し、実践へと結びつけます。

以下に、具体的評価項目と方策（中央小の教育実践）を提示します。アンケートの前に、学校の取組についてのご理解を深めてください。その上でアンケートへの回答をお願いします。アンケートは後ほどふれあいメールやテトルを通してお知らせします。（赤字は昨年度の学校評価を受け、今年度新たに実施する方策や保護者の方にもご協力いただきたい内容です。）

具体的評価項目	方 策
「わかりやすい」授業	○個別指導やグループ指導、繰り返し指導、少人数指導、補充指導等を実施します。 ○ICT機器を効果的に活用した授業づくりに取り組みます。 ○一人2授業公開による研究会等を実施します。
基礎的基本的学習内容の定着	○本時のねらいや評価を明確にした授業を実施します。 ○定着度を把握し、個別指導を実施します。 ○モジュール学習を実施します。
宿題や補充学習	○まとめのテストや授業中の見取りから、児童への定着度を考慮して、宿題等を計画します。 ○取組状況に応じて、個別指導を充実させます。
家庭学習の習慣	○学年の実態に応じた「家庭学習の手引き」を作成し、家庭と協力した自主学習の充実を図ります。 ○学習の定着を促す宿題や自主学習を工夫します。
読書活動	○読書の時間や読み聞かせの機会を設け、本の魅力を感じさせるような工夫をします。 ○「図書たより」の発行、図書委員会の活性化により、図書室からの情報発信をします。
すすんで挨拶	○教師、保護者からの声かけを率先して行い、場面をとらえて繰り返し指導します。 ○児童会の活動等で、あいさつ運動期間を設けます。
自分の気持ちを言葉で伝える	○学校生活全体を通してはっきりとした受け答えを継続的に指導します。
親切言動	○「ぐんまの子供のためのルールブック50」等を活用して日常生活の指導の充実を図り、自分の心を見つめる道徳教育を推進します。
いじめのない温かな人間関係	○児童一人一人の思いを理解し、互いのよさや違いを認め合える学級集団づくりに努めます。 ○月一回のいじめアンケートをはじめ「いじめ防止基本方針」を基に、組織的に全教職員で対応していきます。
自分のよさの自覚	○児童が活躍できる場면을意図的に設定し、その取組について積極的にほめる場面をつくります。 ○朝の会や学級活動等で児童同士の交流を図り、互いを認め合うなど、自己有用感を育てます。

きまりや約束を守る	○「新里中央小のきまり」をもとに「月の生活目標」を設定し指導の徹底を図ります。 ○教科指導や学級活動を通して、家庭で担える役割に気付き実践する態度を育成します。 ○「生活ふりかえりカード」や「生活習慣チェックシート」を活用し、アウトメディアなど自分の生活を振り返る期間を学期に一度設定します。
将来の夢や希望	○懇談会・教育相談、2者面談等を通じて発達段階に合わせて家庭で話し合える話題を提供します。 ○学級活動や各教科の指導を通して、キャリア教育の充実を図り、自らの将来について考える機会を設けます。
規則正しい生活習慣	○養護教諭や栄養教諭と連携し、食事や睡眠と体の成長を関連付けた授業実践を行います。 ○「生活ふりかえりカード」を基に、規則正しい生活習慣の育成を保護者に呼びかけます。
体を動かすこと	○休み時間等に外で遊ぶことを勧めます。 ○「朝の運動」を定期的に設定し、運動の時間を確保します。また、運動の仕方を指導します。 ○運動の楽しさを味わわせる教科体育を充実します。
安全管理	○火災・不審者・地震の避難訓練を行います。 ○防犯教室を実施し、実践的安全教育を行います。
交通ルール	○参加体験型等の交通安全教室を実施します。 ○学級活動における交通安全指導の充実を図ります。
通学路の安全対策	○通学路の安全点検を保護者と連携して実施します。 ○危険回避能力を育むために、緊急時対応について親子で話し合いのできる資料を作成します。 ○一斉下校時等を活用し、通学路の「安全協力の家」の認知を高めます。
地域の安全	○職員や保護者によるパトロールを継続します。 ○非常時の児童引き渡し訓練を年1回行います。 ○スクールゾーン対策委員会で具体的な危険箇所を共通理解し改善を働きかけます。 ○地域の防犯協会との連携を深めます。
特別支援の体制	○生徒指導・教育相談、校内特別支援委員会を定期的に開催し、児童の実態把握・支援体制の確立や指導に役立てます。
保護者への情報発信	○学校便り・学年通信等で適宜情報発信をします。 ○地域回覧板による学校便りの回覧等を実施し、地域への情報発信します。
保護者の懇談会への参加	○保護者のニーズの高い話題が話し合われるよう工夫します（事前周知）。 ○学校行事を積極的に公開します。
学校行事やPTA行事への参加	○各種学校行事を学校便り・学年通信等で知らせたり、ふれあいメールやテトルを活用したりして周知します。
相談体制	○いつでも保護者や児童からの相談を大切に受け止め、相談者の気持ちを大切にします。 ○スクールカウンセラーを活用していきます。
施設設備の安全管理	○安全点検を月1回以上行います。 ○校内巡視や五者点検を適宜行い、危険箇所の早期発見に努め、修繕していきます。